

伝統照らす 最新の電灯

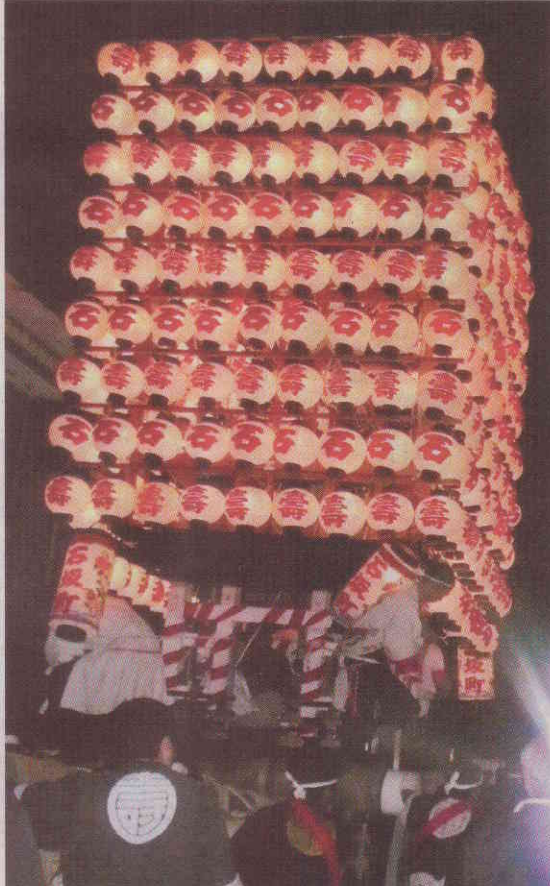
祭り提灯にLED

祭りや神社仏閣を彩る提灯の明かりに、発光ダイオード（LED）照明を活用する動きが広がっている。従来の白熱電球より、省電力で長持ちするのが特徴で、コスト削減と環境保護にもつながり、夏祭りシーズンを前に、製造業者に注文が殺到。最新技術を駆

使した光が、日本古来の伝統の舞台をともしている。山車が激しくぶつかり合う「伏木曳山祭」（5月15日、富山県高岡市）では、今年初めて一つの山車が、400個近い提灯にLEDを採用。バッテリー（重さ約30キ）は16個から4個に軽量化され、注文した奥村

祐二さん（56）は「電球より単価は高いが、バッテリーを考えると、すぐ元がとれる」と喜ぶ。使用したLEDは、白熱電球のソケットをそのまま使えるのが利点。開発した奈良県生駒市の自動車電装整備業杉江久男さん（55）は「全国に広がり、伝統文化の未来も明るく照らすことができれば」と話す。大阪や関東からの注文も相次いでいるという。

徳島県の阿波踊り（8月）では、一部の連が2005年から、踊り子が持つ提灯に使用。電球だと単一電池が3〜6個必要だが、LEDは単3電池3個で済み、阿波おどりの振興協会は「軽くて動きやすいと好評です」。京都市の八坂神社も今年4月、舞殿の提灯約280個を白熱電球から交換した。今後は境内の灯籠もLEDに替える予定。白熱電



LED照明が使われた伏木曳山祭の山車の提灯（富山県高岡市で、5月15日撮影）＝杉江さん提供

■両陛下が福井へ

天皇、皇后両陛下は6日午前福井市の一乗谷朝倉氏遺跡で日に開かれる第60回全国植樹に出席するため、羽田空港発特別機で小松空港（石川県小市）に到着、福井県へ向かわた。6日午後からは福井市内西川一誠知事から県勢概要の明を受けた後、同市の県こども療育センターを訪問される。

■猟銃びわ湖放送が謝罪

テレビ番組「ときめき滋賀」で、猟友会の男性がタレント原田伸郎さん（57）に猟銃を手したとして、滋賀県警がびわ湖放送本社（大津市）を銃刀法反（所持）容疑で捜索した間で、同社は6日、同番組の冒で「関係者に多大なご迷惑をかけた」と謝罪した。

アナウンサーが経緯を話し、「番組制作・放送に際しは、違法性がないかなど一層重に検討を加えて対応しますなどと述べた。原田さんも番組で「細かい部分に注意を払いながら、この楽しい番組を元気っぱい続けていきたい。お騒がせし、申し訳ありませんでしたと頭を下げた。同社の伊藤彰・編成部長は「会社も、原田さんも、一連の問題を番組で話し、世間をお騒がせしたことの謝罪をした方が良かった」と話している。

■野良着キルト 米で注目

農家に残る野良着などを素に使うキルト作家、野富江さ（58）（北海道斜里町）の作品一真一が、外の美術の注目をめ、昨年月、米国立ストン美術館に収蔵された。1年前から使われてきた祖母野良着を実家で見つけ「このしさを後世に残したい」と独でキルトの製法やデザインをふんだ。2005年から高州の



エアバスA330型機、乗客乗員228人）の機体捜索に仏海軍の原子力潜水艦「エムロード」を投入することを明らかにした。ブラジル海軍は3日、同機のものともみられる残骸を一部回収したと発表した。4日になってこれが船

エアバス捜索 仏が原潜投入

【ドービル（フランス北部）＝林路郎】仏軍統合参謀本部スポークスマンは5日、大西洋上で消息を絶ったエアバスフランス447便（エアバスA330型機、乗客乗員228人）の機体捜索に仏海軍の原子力潜水艦「エムロード」を投入することを明らかにした。

蒸し暑さが増すのがえる苦い記憶がある地方の放送局で、警だった頃。車で帰宅途故処理のパトカーを見人でも死者が出たらテすることが多く、ビデオで昼のローカがない。大破しならず、大事故思って通り過ぎ就寝前、電話「あいつが交んだらしい」。た声。警察署にさ先に先の現場でイに乗った後輩

路地裏に花

船のものとわかり、捜索は事実上振り出しに戻った。生存者や遺体が全く見つからない中、仏原潜は今後、事故原因の解明に不可欠な

東京・杉並「監視